

特集 ⑥

愛南いいとこ、 ありのままに 発信



愛南リポーターズ 代表 兵頭 朝美 (愛南町)

あいりぼ誕生！

愛媛県最南端、高知県との県境に位置する人口24,000人の小さな町愛南町。そこに愛南リポーターズ(略して「あいりぼ」)が誕生したのは、平成23年1月のことです。地元CATVを通じて愛南町の良さを発信し、もともと地元の人々に郷土への愛情や誇りを醸成したいと町内外から約10人のメンバーが集まりました。その中には普段映像制作を仕事にしている人もいれば、ビデオカメラをほと

んど触ったことがない主婦の人もいました。そのため、まずは機材の扱い方や撮影の方法を学ぶ研修が主な活動になりました。そのうち、おもしろいと感じたメンバーの声かけでだんだんと人が増えていき、技術の上達と共に、少しずつ地域チャンネルであいりぼが制作したコンテンツが放送されるようになっていったのです。

「愛南ワンダーランド」誕生！

あいりぼの活動が2年目に入ったとき、メンバーのモチベーションにばらつきが出てきました。あいりぼの活動が「映像を制作することである以上、撮影や編集の技術がひとつの壁になってきます。その壁を越えて、技術を身につけた人はどんどん映像を作り、一方で、撮影や編集に自信がない、苦手という人は、

活動していてもおもしろさを感じることでできません。

そこで、以前、お話を伺ったことがあった「住民ディレクター」活動の実践者、岸本晃さんに愛南町で「住民ディレクター養成講座」を開催していただきました。「住民ディレクター」活動を一言でいうと、テレビ番組を制作するプロセス(企画、取材、構成編集及び広報等)を体験することで、企画力や構想力、広報力を持った人を育てて地域の活性化を図る活動です。つまり番組や映像の制作を「目的」ではなくて、人材育成の「手段」にしている活動なのです。

また映像制作が手段である以上、技術的な壁はできるだけ取り払います。「カメラは押しせばうつる」というのが、その講座での唯一の技術指導でした。それまで、撮影や編集といった技術を身につけることが主な活動だったあいりぼにとって、この講座は大きな転機になりました。

講座が終わると、その熱を保ったまま全員で話し合い「人をつないで町を元気に」することを目指して「愛南ワンダーランド」という名前の番組を制作することが決まりました。

「愛南ワンダーランド」は平成25年1月から



会合



取材



ふるさとCM大賞受賞！「なーしくんが工場長」は愛媛朝日テレビさんで年間200回放送されています。YouTubeでもご覧いただけます

スタートし、毎月1回、この8月までに19回が制作されました。いずれもメンバーが知恵を絞って企画したもので、町に住む人の暮らしぶりを伝えていきます。

ふるさとCM大賞受賞！

あいりぼのなかで「愛南ワンダーランド」対をなして盛り上がりつつあるのが、町のCM作りです。そもそも、愛媛朝日テレビさんの企画「ふるさとCM大賞えひめ」への応募作品を作ろうという試みですが、ただ作るだけではおもしろくありません。またCM作りは町を再発見する良いきっかけにもなることから、でき



収録



編集

るだけメンバー全員に関わってほしいと思いました。そこで、昨年は3つのグループを作ってCMを制作し、互いの投票で応募作品を選ぶコンペ「Caaca2013」を開催しました。コンペは大いに盛り上がりました。最多得票を獲得した作品「なーしくんが工場長」は、愛媛朝日テレビさんの「ふるさとCM大賞えひめ」でも大賞という評価をいただき、活動の大きな励みになりました。

今後の展望

「愛南ワンダーランド」や町のCM作りを続けていると、番組を見た人から感想をいただいたり、取材時に励ましの声をかけていただくことがあり、大変うれしく思います。活動が認められてきていることが実感できると、自信が生まれ、それがまた主体的な活動へとつながって

いきます。地域には、まだまだ私たちが知らない暮らしの知恵があふれています。私たちはこれから楽しんでみながら愛南の魅力を発見し、伝えていきたいと思っています。そうすることで、あちこちにゆるい、それでいてしなやかなつながりを作るお手伝いができ愛南町に来てくれる人が増えれば、それに勝る喜びはないと思っています。



愛南リポーターズの決めポーズA。WとLもあります